

若鶴賞歴代受賞者

<趣旨>

学業及び部活動等に励み顕著な成績を収め、都留高校に貢献した者を教育後援会会長が表彰し、文武両道の推奨、校風高揚を図る。

<基準> 次の条件をすべて満たす生徒であること。

- ①本校の名声、校風を高めた生徒と認められる者。
- ②原則として評定平均A段階以上の成績優秀者。
- ③学業以外で特に顕著な成績(関東・全国大会出場等)を収めた者。
- ④人物優秀で他の模範となる者。

年度	号	氏名	所属部	推薦理由
2007 (H19)	1	小林 久貴	野球	野球部のエースとして、秋季関東大会等で活躍し、2年次の春には第79回全国高等学校野球大会出場の原動力となり、本校の名声を高めた。
	2	後藤 成美	吹奏楽	吹奏楽部員として活躍する傍ら、文章表現力を生かし、文芸活動に積極的に参加し、3年次には県芸術文化祭受賞、関東文芸道場短歌部門で最優秀賞を獲得するなど、本校の名声を高めた。
	3	上条 極	生物化学	スーパーサイエンスハイスクールのクラスにおいて、常にリーダーシップを発揮し、1・2年次に自然科学部門において芸術文化祭賞を連続受賞、3年次には全国SSH生徒研究発表会で発表するなど、本校のSSH研究に貢献した。
2008 (H20)	4	渡邊 梓	吹奏楽	3年間吹奏楽部に所属し、1年次は山梨県吹奏楽コンクールで金賞を受賞、県代表で全国大会に出場した。また、3年連続で西関東吹奏楽コンクールに出場し、全てにおいて銅賞を受賞した。学業では英語を得意とし、実用英語検定2級に早々合格した。他の生徒の模範となる生徒であり、3力年精勤でもある。
	5	今井松 寛人	生物化学	SSHクラスに所属し、あらゆる面でリーダーシップを発揮した。生物分野に興味を持ち、生物化学部として1年次は芸文祭自然科学部門において芸術文化祭を受賞、2年次は日本学生科学賞において県議会議長賞を受賞した。実用英語検定2級に早々合格し、学業優秀、人物的に優れ、医学の道を目指している生徒である。
2009 (H21)	6	杉本 夏来	囲碁将棋	SSHクラスに所属。3年間HR委員長を務めた。1年次グループ研究で県高校芸術文化祭自然科学部門県立科学館賞を受賞。1・2年次に囲碁将棋部で関東大会出場。3年次全国物理コンテスト物理チャレンジで予選を通過(70/896)し全国大会への出場を果たした。人物・学力・実績ともに他の模範とすべき生徒である。
	7	川口 真由	美術	3年間美術部に所属し、学業との両立を立派に果たした。1年次、芸文祭ポスター部門で奨励賞。2年次、芸文祭ポスター部門で優秀賞。芸文祭美術工芸部門で芸術文化祭賞を受賞。増田誠大賞議長賞。3年次、全国総合文化祭に出場。増田誠大賞教育長賞を受賞するなどの実績をあげ、本校の名声を高めた。
	8	天野 央梨	バスケットボール	3年間バスケットボール部に所属し活躍する一方で、青少年読書感想文コンクールで1年次「高校生の本棚賞」を受賞したのに続き、2年・3年と2年連続で最高賞である「県知事賞」を受賞し、全国大会への出場を果たした。都留高校の4年連続県知事賞受賞に大きく貢献した。3年次には全国学校図書館協議会長賞を受賞するなどして本校の名声を高めた。
2010 (H22)	9	渡邊怜奈	吹奏楽	吹奏楽部部長として、優れたリーダー性を発揮した。平成20年度ならびに平成22年度山梨県吹奏楽コンクール金賞受賞で西関東大会出場。英検2級取得。真面目な努力家で、意志も強く、人物・学力・実績ともに他の模範となる。
	10	藤本健人	数理情報 囲碁将棋	SSHクラスに所属。数理情報部で活躍し、囲碁将棋部で、関東大会に出場した。誠実な人柄で何事にも献身的に取り組む。英検、漢検ともに2級取得。全国高校化学グランプリにおいて、日本化学会関東支部奨励賞を受賞し、本校の名声を高めた。
	11	後藤麻衣	生物化学	SSHクラスに所属。生物化学部副部長を務める傍ら合唱部で活躍した。1年次、グループ研究で県高校芸術文化祭自然科学部門 芸術文化祭賞受賞。3年間校内の全ての試験で、学年順位1位であった。英検、漢検ともに2級取得。強い意志と向上心を持つ努力家であり、人物・学力・実績ともに他の模範とすべき生徒である。
2011 (H23)	12	設楽ひかり	水泳	3年間水泳部に所属し、高いレベルで文武両道を実践した。1年次全国JOCジュニアオリンピック、全国高校総合体育大会、国民体育大会、2年次ジャパンオープン、3年次全国JOCジュニアオリンピックの全国レベルの各大会に出場。特に3年次の上記大会においては50mバタフライで7位に入賞し、FINAワールドカップ東京大会への出場を果たした。2年連続HR副委員長も務め、他の模範となった。
	13	佐々木 藍	吹奏楽	3年間吹奏楽部で活動しながら、常にクラス上位の成績を収めてきた。特に、2年次の8月より部長を務め、3年次の第51回山梨県吹奏楽コンクールでは金賞(県代表)を受賞、上位大会である第17回西関東吹奏楽コンクールでは、関東支部が東西に分かれてから初めて銀賞を受賞する快挙を成し遂げた。例年より少人数であることをハンデとせず、その逆境をはねのける原動力となった存在である。
	14	矢光 真子		3年間SSHクラスに所属。2年次に「数学オリンピック」に出場して6点を取り、Bランクの中に入り表彰された。3年次に韓国で開催された「アジアサイエンスキャンプ2011」に応募して選出され参加した(日本からの出場者27名)。また、「日本生物学オリンピック」に出場して予選を最上位で通過し、全国大会では11～20位に入賞して銀賞を受賞した。
2012 (H24)	15	今井松 健也	ハンドボール	3年間SSHの活動に参加し、数々の実績を残すとともに、ハンドボール部の主将を務め、関東大会出場を果たすなど高いレベルでの文武両道を実践した。SSHの活動においては、「ナメクジの研究」で、1年次教育長奨励賞、2年次理科部会特別賞、3年次日本科学技術振興機構理事長賞などを受賞。3年次には「生物学オリンピック」で全国2位となったのをはじめ、「アジアサイエンスキャンプ」の日本代表に選ばれるなど、全国レベルの活躍をした。明朗で誠実な人柄により周囲からの信頼も厚く、学業成績も優秀で、3箇年皆勤といずれの点からも他の模範とすべき生徒である。
	16	天野 瑞梨	写真 文芸	3年間SSHの活動に参加し、熱心に研究活動に取り組むとともに、写真部・文芸部にも所属し、多方面の活躍をした。SSHの活動においては、数理情報部に所属し、「エクセルを用いたシミュレーション」についての研究を行った。3年次には「アジアサイエンスキャンプ」の日本代表に選ばれるなど、全国レベルの活躍をした。文芸活動においては、「関東地区高校生文芸大会」に3年連続で山梨県代表として出場を果たし、2年次には短歌部門において、県内では2人目となる最優秀賞を受賞するなど顕著な実績を残した。学業・人物ともに優秀で、他の模範とすべき生徒である。
2013 (H25)	17	井坂 和広		3年間SSHの活動に参加し、数々の実績を残した。チャレンジ精神も旺盛で3年間にわたり、「数学オリンピック」へ参加をし、3年次には「アジアサイエンスキャンプ」の日本代表に選ばれた。また、1年次には全国高校生読書体験記コンクールにおいて全国大会入賞を果たすなど文才にも秀でており、多方面にわたり全国レベルの活躍をした。温厚で思慮深く、常に冷静に且つ的確に状況判断をし、行動できる生徒である。周囲からの信頼も厚く、学業成績も優秀、3ヶ年皆勤といずれの点からも他の模範とすべき生徒である。
	18	井田 匠	囲碁将棋 地球物理	3年間SSHの活動に参加し、熱心に研究活動に取り組むとともに、囲碁将棋部にも所属し、多方面の活躍をした。SSHの活動においては、1年次には数理情報部に、2年次以降は地球物理部に所属した。地球物理部で「弦の振動における節のぶれについての考察」についての研究を行い、2年次に県自然科学発表大会で最優秀の芸術文化祭賞を受賞し、3年次には長崎で行われた全国高等学校総合文化祭への出場を果たすなど全国レベルの活躍をした。厳しい家庭環境の中でも向学心を失わず、1年次において実用英語技能検定2級に合格するなどその努力は群を抜いている。学業・人物ともに優秀で、他の模範とすべき生徒である。

2014 (H26)	19	河村 優一郎	囲碁将棋	囲碁将棋部に所属し、入学直後より部のエースとして活躍してきた。1年次には、山梨権竜王戦で優勝を収め、全国大会へ出場を果たすとともに、県新人大会においても優勝して関東大会へ出場している。2年次には、県高校芸術文化祭個人の部で優勝、関東将棋大会では決勝に進出し、全国オール学生将棋選手権において準優勝、全国高校竜王戦ではベスト8の成績を残している。 無口ではあるが、確固たる信念を持って行動する生徒である。
	20	守屋 実紀	ボランティア	3年間を通して南関東インターハイの実行委員を務め、本校の代表としてインターハイの成功に貢献した。その活動の中で、山梨県知事との対談を果たすなど、非常に高い評価を受けた。 また、ボランティア同好会に所属し、2年次には東日本大震災の被災地である福島県での炊き出しのボランティアに参加するなど、非常に積極的かつ主体的に活動した。今年度のティーンズメッセージにおいて、最優秀賞を受賞するなど独創性にも優れている。思いやりが強く、周りをよく見て行動することができる生徒である。周囲からの信頼も厚く、学業成績も優秀であり、他の模範となる生徒である。
2015 (H27)	21	長田 健吾	書道	高習熟クラスに所属し、医師になる夢を叶えるため、日々の学習に真摯に取り組み、3年間学年2位の成績を維持した。青少年読書感想文コンクールに入賞するなど文章力にも秀でている。 ハワイサイエンスツアーをはじめSSHの活動に積極的に参加しつつ、書道部長を2年間務めるなど、課外活動に活気をもたらした。 少林寺拳法の山梨県大会で優勝し、第17回全国高等学校少林寺拳法選抜大会に出場するなど、本校の名声を広め、文武両道を実践した模範的な生徒である。
	22	藤原 尚俊	陸上	高習熟クラスに所属し3年間学年トップの成績を維持した。好奇心旺盛で何事にも主体的かつ自律的に取り組み、クラスや学年を牽引した。1年次よりSSHの活動に率先して取り組み、東京大学国際高等研究所で実施されたサイエンスキャンプに参加したり、SSH全国大会に都留高校代表として出場し、「二次方程式が実数解をもつ確率は5/8」のポスター発表を行うなど活躍した。陸上部に所属し、3年次の山梨県総合体育大会では、走幅跳3位、八種競技4位、三段跳5位、4×100リレー6位などの成果を出し、これらの種目で関東大会に出場するなど、本校の名声を広め、文武両道を実践した模範的な生徒である。
2016 (H28)	23	石原 翼	水泳	高習熟クラスに3年間所属し、成績は常にトップレベルであった。水泳部で活動するため、入学当初から3年生6月まで小菅村の実家を離れ、都留高校近くのアパートで一人暮らしをしていた。炊事洗濯を自ら行う生活の中でも、水泳部ならびにSSH生物化学部の部活動と学業の両立を見事に実践したことは他の生徒の模範となるものであった。 山梨県高等学校総合体育大会水泳競技大会男子400M個人メドレー第3位や山梨県郡内高校生短歌大会都留文科大賞、山梨県高等学校芸術文化祭短歌部門優秀賞を受賞するなど本校の名声・校風を高めた生徒である。
	24	渡邊 峻	数理情報 囲碁将棋	高習熟クラスに3年間所属し、成績は常にトップレベルであった。学習に対する真摯な姿勢は他の生徒の模範となるものであり、年次全体を牽引した。青少年読書感想文コンクールにおいて、1年次は高校生の本だな賞を、2年次は自由図書部門特選をそれぞれ受賞した。山梨県高等学校英語暗誦弁論大会弁論の部優良賞を受賞するなど本校の名声・校風を高めた。 また、3年間SSH活動にも意欲的に取り組み、数理情報部のグループ研究では「光線の反射」についての論文をまとめ、日本学生科学賞山梨県読売新聞社賞を受賞した。その他科学の甲子園山梨県大会や数学オリンピック予選に参加するなど、見事に文武両道を実践した生徒である。
2017 (H29)	25	鎌 真衣	写真	高習熟クラスに3年間所属し、成績は常にトップレベルである。学習面はもちろんのこと、何事に対しても常に前向きな姿勢で臨み、地道な努力を重ねるその姿勢は他の生徒の模範となるものであった。第37回山梨県高等学校芸術文化祭文学部門優秀賞(全国高等学校総合文化祭出場)、第38回山梨県高等学校芸術文化祭自然科学部門優良賞受賞など文系・理系を問わずその才能を遺憾なく発揮した。一方、写真部の部長としても活躍し、部を秋季審査会団体第3位に導く活躍を見せたほか、個人でも、「山の日写真コンクール」入選、第19回化学写真展山梨県知事賞などの各賞を受賞し、本校の名声・校風を高めた生徒である。
2018 (H30)	26	三塚 新	囲碁将棋	本生徒は自学進取の精神で3年間学業に励み、学年トップの成績を維持しただけでなく、2年間奨励会にて研鑽を積み、囲碁将棋部においては以下のような優秀な成績を収めた。都留高校の名を全国に轟かせ、他の生徒の模範となった若鶴賞に相応しい生徒と判断し推薦する。 平成30年度山梨県高校将棋竜王戦優勝・全国大会出場 平成30年度山梨県芸術文化祭将棋部門団体戦優勝・全国大会出場 平成29年度山梨県芸術文化祭囲碁部門団体戦準優勝・関東大会出場 平成28年度山梨県芸術文化祭囲碁部門団体戦優秀賞・関東大会出場
2019 (R1)	27	平井 駿之介	卓球 囲碁将棋	本生徒は3年間、卓球部と囲碁将棋部の2つの部に所属している。また、2年次の秋から本校の生徒会長を務めた。卓球部においては団体戦のメンバーとして活躍し全国高等学校総合体育大会山梨県予選第3位や山梨県新人卓球大会第3位などに貢献した。また、個人戦においても全国高校選抜卓球大会山梨県予選準優勝など顕著な成績を残した。3年次では関東高校卓球大会への出場を果たした。また、囲碁将棋部においても全国総合芸術文化祭将棋部門の山梨県予選で優勝し、全国大会への出場を果たした。さらに生徒会長として学校行事の活性化に貢献したり、学校の代表として地域との連携行事にも参加したり本校の代表として責務を果たした。運動部と文化部でも立派な活躍をし、さらに生徒会会長を務め、加えて学業においても年次でトップレベルの成績を収めている本生徒は、本校を代表する生徒である。
	28	岩崎 世那	水泳	本生徒は3年間水泳部に所属し、全学年で全国大会入賞を果たした。合宿や遠征のため授業を受けられないことが多かったが、登校できる日は7時前に登校し自習をして部活動の一環で8時前に清掃活動を継続してきた。学習面ではクラス上位1桁を維持し、3年次では5位以内であった。都留高校の掲げる文武両道の精神に合致した本生徒は他の生徒の模範となった。 第40回 全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会・100m自由形8位 第41回 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会・50m自由形7位 第87回 日本高等学校選手権水泳競技大会 50m自由形4位 第74回 国民体育大会水泳競技 50m自由形5位